

令和元年度 第1回地域医療構想調整専門部会 議事要旨

1 日時及び場所

(1) 日 時

令和元年（2019年）11月19日（火） 15時30分～17時00分

(2) 場 所

渡島総合振興局保健環境部八雲地域保健室（八雲保健所） 2階会議室

2 出席者

別添 出席者名簿のとおり

3 議 題

- (1) 「外来医療計画」に向けた現状と課題及び取組方針等について
- (2) 地域医療構想を踏まえた具体的対応方針の再検証の要請について
- (3) 北渡島檜山圏域地域医療構想の推進に係る「重点課題」の設定について

4 議 事

- (1) 「外来医療計画」に向けた現状と課題及び取組方針について
  - ア 資料1-1及び資料1-2について、事務局より資料説明。
  - イ 質疑応答（有・**無**）
- (2) 地域医療構想を踏まえた具体的対応方針の再検証の要請について
  - ア 資料2及び参考資料について、事務局より資料説明。
  - イ 質疑応答（**有**・無）

(A 委員)

国では機械的に再統合等はしないと言っているが、特に公立病院は補助金等で運営しており、財政的な面でしわ寄せや圧力がかからないか心配している。

保健所や道においては、機会あるごとに訴えていただき、国に働きかけていただきたい。

(事務局)

今後地域に即した地域医療構想を検討していかななくてはならず、機械的な再統合等はできないと考えているところ。

しかし、これからの人口減少や高齢化が進むことによる財政的な面などの課題もあり、それぞれの意見を可能な限り反映しながら、地域全体でどうすれば最善の方法なのかを今後議論していただきたいと思う。

- (3) 北渡島檜山圏域地域医療構想の推進に係る「重点課題」の設定について

- ア 資料3について、事務局より提案。
- イ 質疑応答（**有**・無）

(A 委員)

医師や医療従事者の偏在について、北海道では充足している圏域もあれば、不足している圏域もある。だからこそ、連携や役割分担が重点課題（案）に出てきているのかと捉えている。

そこでこれを進めるためには、医師や医療従事者の人材が確保されなければ、連携と言っても人が足りず、まずは医師や医療従事者の確保が最重点課題になるのかと思われるのだが、その辺りはどのように考えているのか。

(事務局)

地域医療構想の他に道では医師確保計画の策定を行っており、人口編成等を基に2次医療圏単位で目標医師数を算出し、北渡島檜山圏域においては、暫定値であるが、圏域全体で医師が10名不足しているところ。

これらについて、道では具体的なものは示していないが、医師の養成や地域の医療機関を支える取組等を検討しているところ。

(B 病院)

重点課題として3点提案しているが、一つに建て替えの計画がある。

国の再検証の要請では強制するものではないと言っているが、提案されたものを重点課題とされた場合、具体的対応方針が現状追認となっているものも議論と対象となっているが、道としてはどう考えているのか。

(事務局)

当圏域地域医療構想調整会議で議論していただき、地域で再検証を要さないとなるのであれば、道としては現状でそれ以上のことは考えていない。

ただ、2025年や2040年を見据え、人口減少や地域の環境の変化に伴う議論は進めていかななくてはならないと考えている。

病床数の削減や増床については、当圏域地域医療構想調整会議で情報共有していただき、圏域の方向性を見出していこうということになっており、調整会議において、現状維持で了承されるのであれば、それが圏域の現状の方向性となると思う。

## 5 その他

### ○今後の予定

事務局より連絡。

12月6日(金)に北渡島檜山圏域地域医療構想調整会議を開催する。

内容については、今回の専門部会の意見等を踏まえ、主に重点課題の設定について、協議していただき、方向性を決めていく予定。

その後、12月15日(日)に札幌市で開催される地域医療構想調整会議協議会において、各圏域の議長が集まり重点課題等の進捗状況の報告をしていただくこととなっている。

以 上